

令和5年12月26日  
健康・安全教育課

熱中症に関する生徒の実態調査  
結果資料

奈良県教育委員会

【実施目的】

高校生の熱中症に対する意識及び実態を把握することで今後の熱中症予防対策の推進を図る。

【実施方法等】

- 実施対象 県立高等学校の全日制課程と定時制課程に在籍する1年生と2年生
- 実施方法 ・子ども支援サイト及びGoogle Workspace for Education のフォームを活用して、各学校にて実施  
・回答は無記名とし、個人のアカウントは記録されないようにする
- 実施期間 令和5年10月30日（月）～令和5年11月22日（水）
- 実施状況 回答数等
  - <回答学校数合計> 31校
  - 全日制課程 30校
  - 定時制課程 3校
  - <児童・生徒数合計> 9,687人
  - 全日制課程 9,545人
  - 定時制課程 142人

【資料の項目】

- (1) 発生体験（経験）の有無
- (2) 症状別発生状況
- (3) 発生場所と発生状況
- (4) 発生時や発生後の対応
- (5) 熱中症を予防するために特に心掛けていること
- (6) 先生に気兼ねなく体調不良を伝えることができること

<質問事項>

Q1 あなたの学校名を選んでください。

Q2 あなたの学年を選んでください。

Q3 あなたは、今年度これまでに学校（登下校を含む）で熱中症（めまい・立ちくらみ・頭痛・嘔吐・意識障害など）にかかったことがありますか。

- ① ある（⇒Q4へ）
- ② ない（⇒Q11へ）

Q4 Q3で①あると答えた方に質問です。

どのような症状が見られましたか。（複数回答可）

- ① I度（めまい、立ちくらみ、筋肉の硬直（こむら返り）など）
- ② II度（頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感など）
- ③ III度（意識障害、痙攣発作など）

Q5 熱中症にかかった場所はどこですか。（複数回答可）

- ① 教室（⇒Q6へ）
- ② 体育館（⇒Q7へ）
- ③ グラウンド（⇒Q8へ）
- ④ その他（学校外を含む）（⇒Q9へ）

Q6 Q5で①教室と答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。（複数回答可）

- ① 授業中（休憩時間を含む）
- ② 部活動中
- ③ 学校行事
- ④ その他

Q7 Q5で②体育館と答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。（複数回答可）

- ① 授業中（休憩時間を含む）
- ② 部活動中
- ③ 学校行事
- ④ その他

Q8 Q5で③グラウンドと答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。(複数回答可)

- ① 授業中(休憩時間を含む)
- ② 部活動中
- ③ 学校行事
- ④ その他

Q9 Q5で④その他(学校外を含む)と答えた方に質問です。

どのような状況で発生しましたか。(複数回答可)

- ① 授業中(休憩時間を含む)
- ② 部活動中
- ③ 学校行事
- ④ 通学・帰宅途中
- ⑤ その他

Q10 熱中症にかかった時やその後の対応(複数回答可)

- ① 特に何もしなかった
- ② 保健室に行くなど、適切な処置を受けた
- ③ 医療機関を受診した
- ④ 救急車で搬送され、医療機関で受診した

Q11 あなたが熱中症を予防するために特に心掛けていることは何ですか。

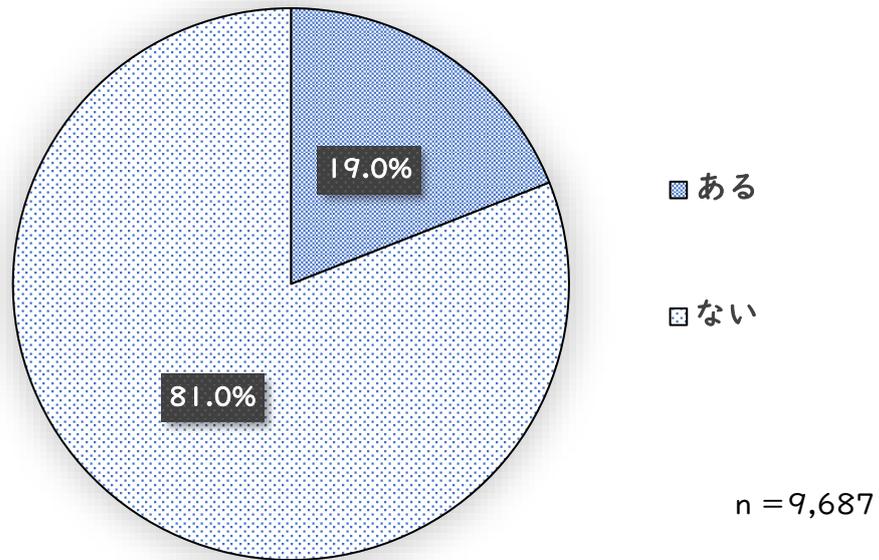
(3つまで回答可)

- ① 環境条件の把握(暑さ指数(WBGT)の把握など)
- ② 運動量の調節(休憩を頻繁に入れるなど)
- ③ 状況に応じた水分・塩分補給
- ④ 暑熱順化(暑さに対して徐々に体を慣らすこと)
- ⑤ 個人の条件を考慮(睡眠不足、発熱など体調の悪いときに無理に運動をしない)
- ⑥ 服装の調節
- ⑦ 具合が悪くなったときの運動の中止
- ⑧ 特になし

Q12 あなたは暑さで具合が悪くなったときに先生に気兼ねなく体調不良を伝えることが出来ますか。

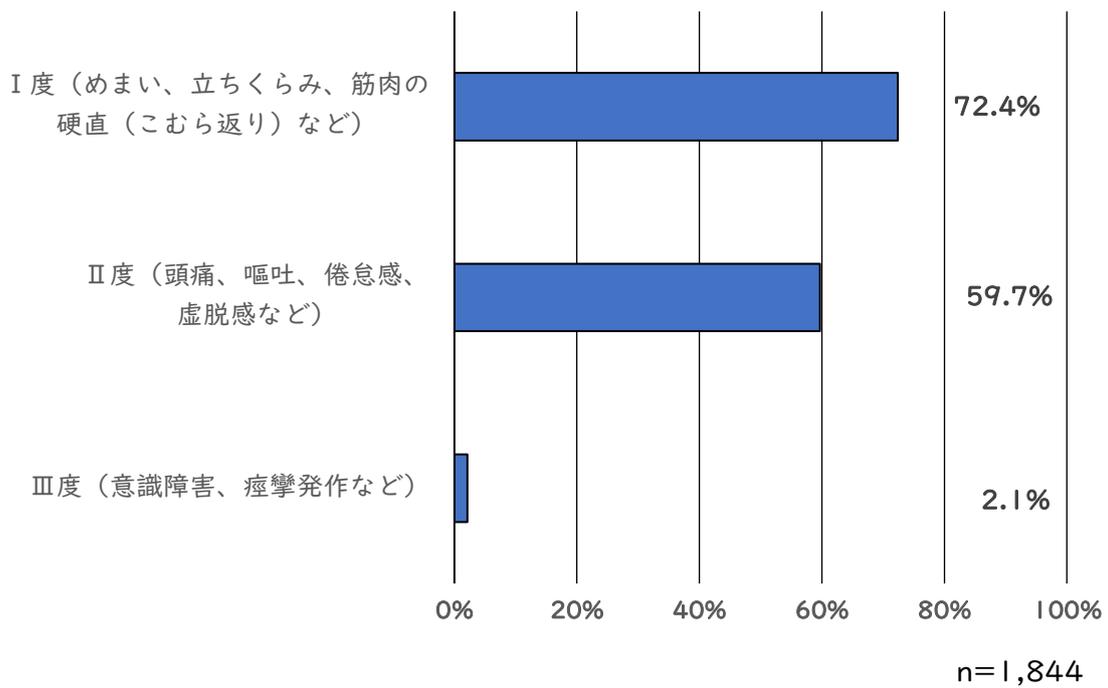
- ① できる
- ② できない

(1) 発生体験（経験）の有無



19.0%の生徒が、これまでに熱中症にかかった経験を有していた。

(2) 症状別発生状況 (複数回答可)

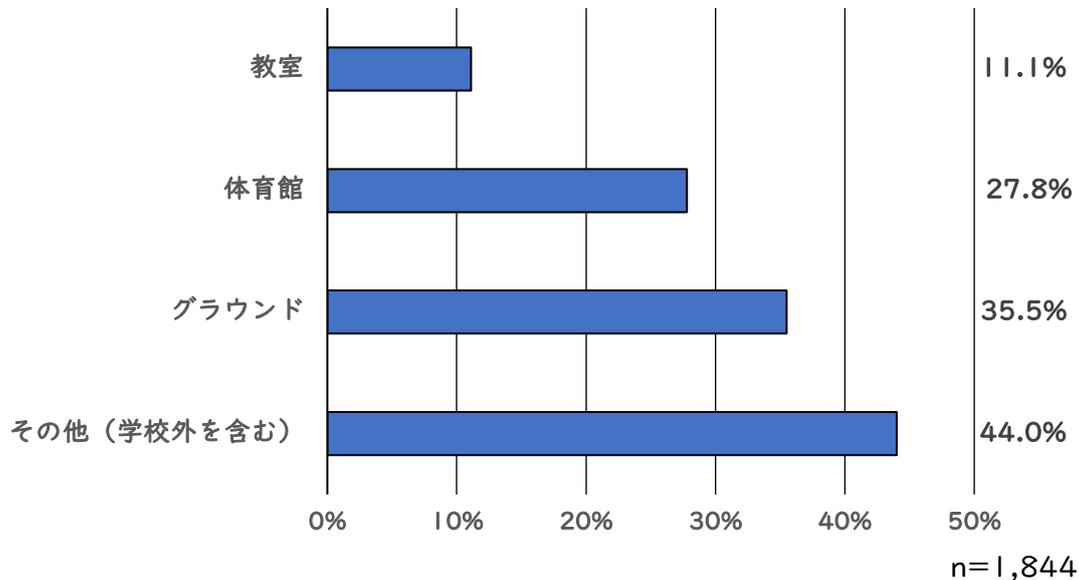


症状別では、症状の最も軽いI度が最も多く、I度・II度で大半を占めた。

(3) 発生場所と発生状況

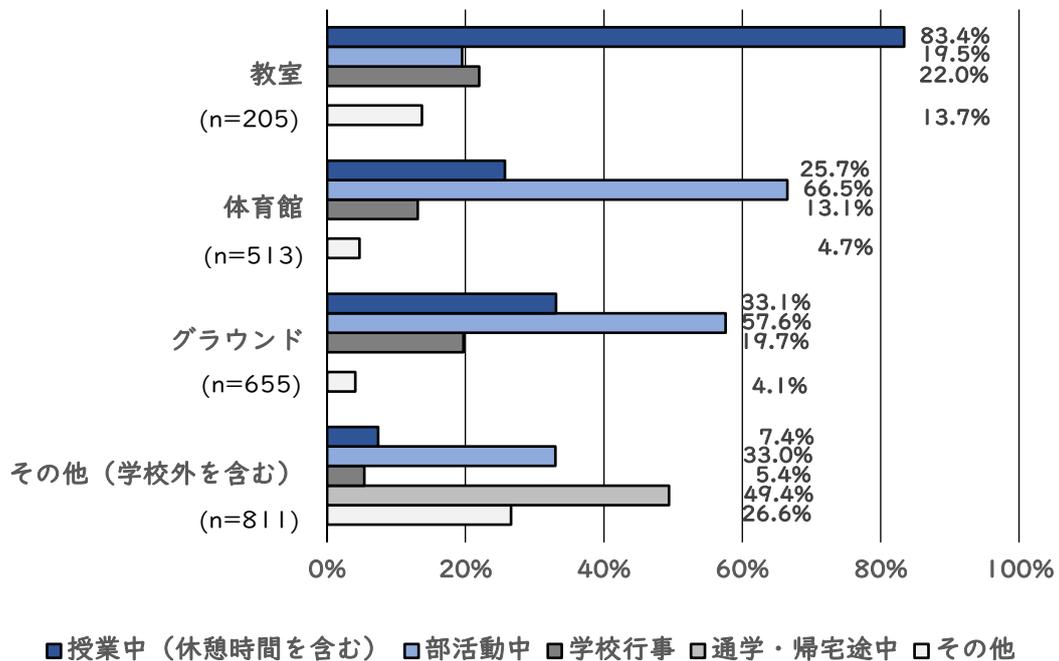
(複数回答可)

発生場所



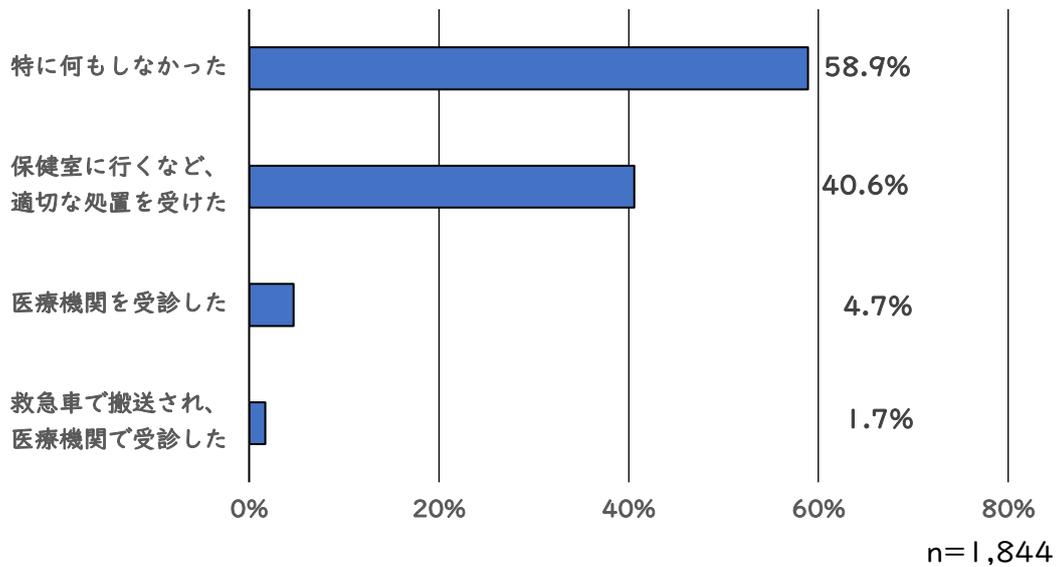
発生場所としては、『その他 (学校外を含む)』が最も多く、次いで、『グラウンド』、『体育館』が多かった。『教室』が最も少なかった。

発生状況



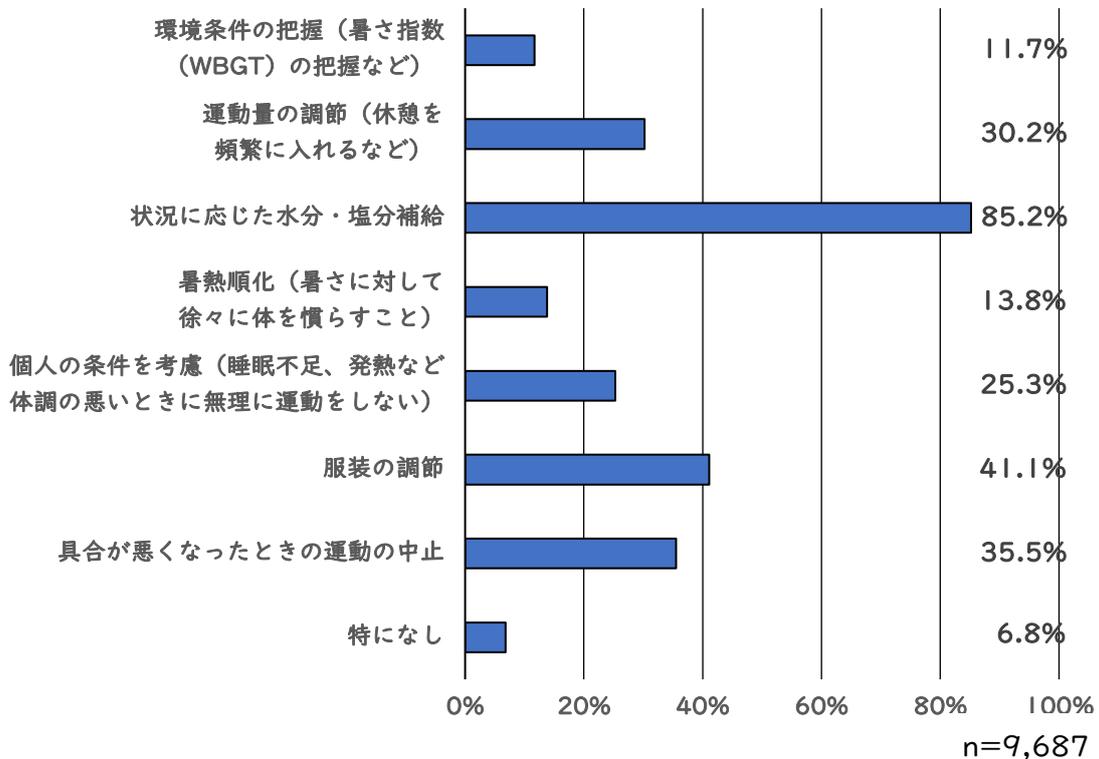
グラウンドや体育館においては『部活動中』が多く、その他では『通学・帰宅途中』が多かった。

**(4) 発生時や発生後の対応** (複数回答可)



発生時や発生後の対応では、『特に何もしなかった』が最も多かった。次いで、『保健室に行くなど、適切な処置を受けた』が多かった。

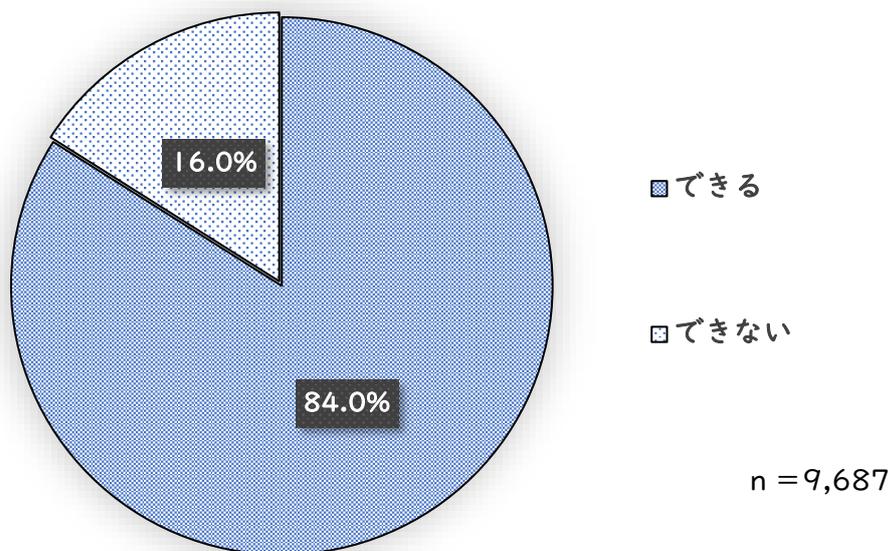
**(5) 熱中症を予防するために特に心掛けていること** (複数回答可)



予防するために心掛けていることでは、『状況に応じた水分・塩分補給』が最も多かった。

なお、6.8%の生徒が、『特になし』であった。

(6) 先生に気兼ねなく体調不良を伝えることができること



84.0%の生徒が、『熱中症にかかったときに先生に気兼ねなく体調不良を伝えることができる』と回答し、16.0%の生徒は『伝えることができない』と回答した。